



ブランドと魅力を高め 変革し成長するまちへ

令和7年6月24日

福島市長

木幡 浩



人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市 ～世界にエールを送るまち ふくしま～

- ・市民が誇りをもって住み続けたい、よその人が関わってみたいと思うまち
- ・これを実現し、大震災からの復興創生を成し遂げ、「世界にエールを送るまち」に

基本理念(まちづくり全体を網羅する重要な5つの視点)

1. 福島らしさを生かした 新ステージの形成

自然や歴史、花や音楽等、
福島らしい特徴を生かす視点
グレードアップしていく視点

2. 持続可能性の実現

地域としての持続可能性、
SDGsの要素や考え方を考
慮する視点

3. 多様性の尊重

人間尊重や一人ひとり、
様々な主体の多様性を尊重
する視点

4. 県都としての責務

「福島」の名を有する県都と
して県全体の発展、復興・
創生に貢献する視点

5. ポストコロナ時代を 見据えた社会づくり

ポストコロナ時代を見据え
た新たな発想による社会づ
くりの視点

福島らしさを生かした
ここにしかないまち



田園の豊かさ、人の好さを生かした
共生・共創のまち

復興創生・広域的発展を牽引

住み続けたいまち

移住・定住拡大

ゼロカーボン化
デジタル化

安全・安心

子育て・教育

産業振興

賑わい・文化

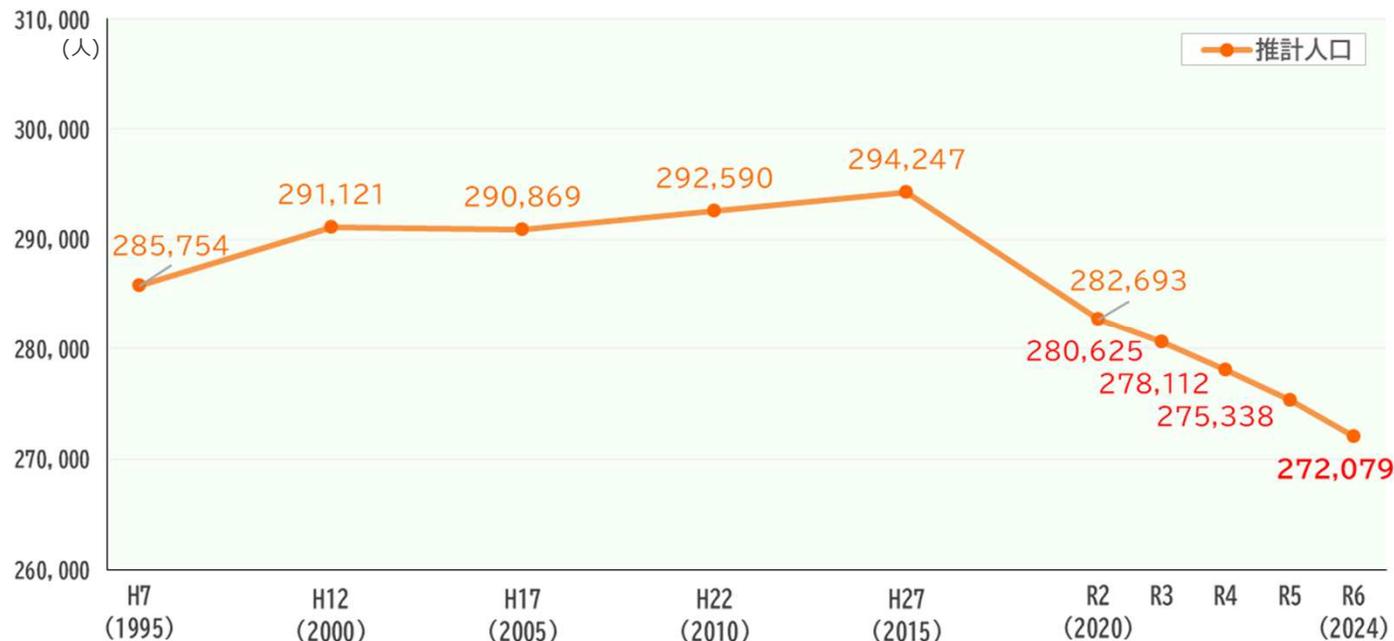
女性等活躍
共創

関係人口拡大

関わりたいまち

福島市の人口

【人口推移】



※各年10月1日現在

▶社会動態

- ・ 青年層を中心に大都市圏への転出超過がコロナ後増加傾向。
- ・ 近年は減少幅が拡大傾向。首都圏との賃金格差が要因と推察。

▶自然動態

- ・ R3以降、出生数は過去最少が続く。R6は前年比9.8%減。
- ・ こどもの数・割合、婚姻届出件数も減少傾向。

▶男女比

- ・ 市全体では女性人口が多いが、若年層は男性より女性が少ない。(20代は6%程度女性が少ない)

<年齢別社会動態>

令和6年	区分	総数	~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
	増減	△826	△8	73	△807	△64	△24	32	△5	△13	△10
転入	8,080	564	736	3,013	1,530	901	748	308	153	127	
転出	8,906	572	663	3,820	1,594	925	716	313	166	137	

<出生数>



課題山積! 人口減少本格化の前に積極財政で未来を拓く!!

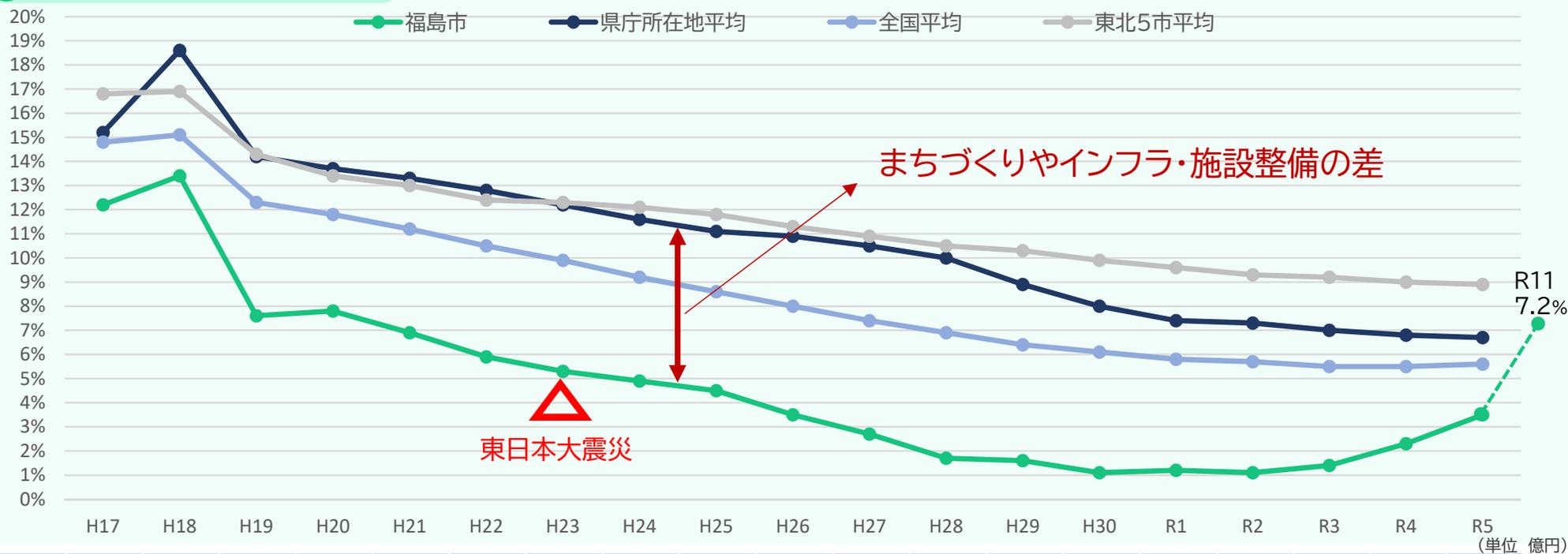
- ・人口減少、防災、地域活性化、デジタル化、ゼロカーボン化等への対応
- ・健全財政重視に伴う老朽化、都市基盤不足



健全性を維持しつつ、
先端課題に対応し、
基盤強化も図る積極財政を展開

- 本市では、人口減少、防災、地域活性化、デジタル化、ゼロカーボン化など将来も見据えた重要課題に対応するとともに、長年、健全財政重視で投資を抑制してきたことに伴うインフラ・施設の老朽化や都市基盤不足に同時並行的に対応していかなければならない。
- このため、健全性を維持しつつ、人口減少が本格化する前に、人や投資を呼び込むための攻めの施策を積極的に展開する。
- すなわち、将来も見据えた重要課題に対し先進的に取り組むとともに、同時並行して、老朽化したインフラ・施設の再編整備や修繕を時期を失することなく実施し、都市基盤の底上げ・強化を図っていく。

● 実質公債費比率の推移



	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年度末市債残高	952	917	917	923	895	892	872	857	840	837	820	810	816	863	896	946	1,000	1,001	990
臨時財政対策債	89	112	130	157	185	234	276	322	365	397	420	433	447	465	477	483	491	477	452
事業充当市債等	862	805	787	766	711	658	597	535	475	440	400	377	369	398	419	463	509	523	538

福島市のブランド・魅力

◆田園都市

- ▶人口27万人を抱える都市的側面
- ▶豊かな自然、温泉、くだもの



◆「福島」の名を持つ県都

高い知名度で、大震災と原発事故からの復興創生にチャレンジ

◆市民性

奥ゆかしくも人情に厚く、次々と襲来する困難に挫けない忍耐強さ

◆高速交通網の結節点

- ▶東北新幹線と山形新幹線が分岐
東京駅 最短80分

- ▶東北中央自動車道と東北自動車道が交差
90分以内に330万の都市圏



◆個性的な地域づくり

- ▶先人から受継ぐ魅力…
果物、温泉、花、食、古関裕而氏と音楽、縄文文化、近代土木遺産
- ▶政策的なブランド化…
子育てと教育に熱心なまち、企業が成長する環境とDX、わらじと健脚文化、納豆のまち、UFOの里づくり など

ブランドを高め、成長するまちへ

◆個々の魅力の磨き上げ、パッケージ化とネーミングで打ち出し

- ▶F-BOX、スイーツプレミアム、ピーチホリディ
- ▶ふくしま花回廊、ふくしま三名湯、ちょうどいい旅、ふくしまステイ。
- ▶古関裕而のまちづくり ▶健脚文化
- ▶納豆のまち福島、UFOの里づくり



◆対外的な働きかけや情報発信、表彰等の箔付け活用

- ▶わらじまつり（観客が楽しめる工夫、有料観客席配置、万博でのPR）
- ▶シティセールス…本市ゆかりの首都圏在住者等交流会、まちづくり賛同型ふるさと納税
- ▶日本子育て大賞R5、共働き子育てしやすい街ランキング東北1位
- ▶日本DX大賞優秀賞2024

◆新しい創造的な取組でPR強化 ～意欲ある若者・企業の定着・流入へ

- ▶公民こねくと（企業との連携で課題解決策を創出）
- ▶自治体ビジネス（内製の答弁検討システムを商品化）
- ▶特許出願（民間共同開発の被災者支援システム）

第一楽章 「古関裕而に触れ、親しむ」

1 古関裕而記念館のリニューアル

○展示リニューアル（新映像コンテンツ導入等）、校歌・社歌等音源収集

2 様々な場面で古関メロディー導入

(1) ハレの場、おもてなしの場で ～ 新年市民交歓会、鼓笛パレード、
スポーツ大会、交流会の場など

(2) 市役所の電話保留音（栄冠は君に輝く）、ノー残業デー音楽（別れのワルツ）

(3) 思い出の場面で ～ まちなか高原列車など

3 古関裕而氏の発信

○駅東西の映像コンテンツ放映

○民間による古関裕而カレンダー、MAPモニュメントの駅コンコース設置など

4 顕彰の強化

(1) **野球殿堂入り**の実現（R5）

(2) あなたが選ぶ古関メロディーベスト30（福島民報社）

(3) 小中向け「マンガで読む古関裕而」の作成・配布

(4) 「古関メロディーからのエール」エピソード集



古関裕而記念館展示

1 「古関裕而のまち・福島市」のアピール

- (1) ロゴの作成・活用
- (2) 古関裕而ストリート（←既存の碑等に加えて）
- (3) デザインアート（駅東口地下階段）、デザインマンホール



2 古関メロディが流れるまち

- (1) 古関メロディが流れるモニュメント等
 - ・ 生誕100周年記念モニュメント、西口広場モニュメント、生誕の地記念碑、3つのメロディBOX、カリヨン時計塔、平和通り時計塔、ポケットパーク、など
- (2) JR福島駅発車メロディ
- (3) 古関裕而メロディバス



3 古関裕而関連イベントでまちの活性化

- (1) わらじまつり
- (2) 古関メロディを取り入れた音楽・ダンスイベント等

1 古関裕而のまちならではの音楽文化の振興

- (1) 古関裕而記念音楽祭、まちなか音楽祭、音楽の祭典（テーマ別音楽）
- (2) チェンバーオーケストラの創設
- (3) 古関裕而作曲コンクールの開催

2 野球殿堂入りとレガシーの活用

- (1) 全早慶戦、古関裕而杯中学女子軟式野球大会の開催



全早慶戦

3 観光物産振興

- (1) 古関裕而や「エール」ゆかりの地巡り
- (2) 古関裕而関連商品の開発（純米大吟醸「古関メロディー」、**「矢の餅」復元など**）

4 ロケーツーリズムの推進

- 「エール」機に官民の受入れ体制整備、年間30件前後の誘致実現

5 豊橋市とのパートナーシティ交流（R4. 2～）

UFOの里づくり

【これまでの活動】

1 イベント

UFOフェスティバル、UFOの日記念日事業

2 特産品

オリジナル地酒づくり「宙飛ぶ宴絆」醸造・販売（第1期完売、第2期追加）

UFOエレファントガーリックの栽培

3 UFO研究所

ムー編集長 三上氏とライセンス契約、UFOの里聖地化プロジェクト

4 UFOの里ウェブサイト全面リニューアル

5 メディア登場

サントリー「クラフトボス」のCM

R6.6.24 テレ朝「ワイドスクランブル」UFOの里PR強化に本格参戦

R6.7.19 NHK「おはよう日本」

R6.11.9 NHK「はまなかあいづ」UFOフェスティバル

R6.12月 NHK・FCT 新酒「宙飛ぶ宴絆」発表会

R7.3.15 FTV「アルピーの福島あるある認定委員会」

R7.3.31 NHK「緊急！町民オーディション」

R7.4.7 日テレ「有吉ゼミ」



U F Oの里づくり

～物産、観光、農業などと連携した 自立的なまちづくりへ～

【今後の取組】

▶ 1 特産品の販路・生産拡大

現状において酒米やエレファントガーリックの**生産拡大が困難**
→新たな目線や発想により生産拡大の可能性を探る



▶ 2 イベント継続のための検討

実施イベントの内容充実

- ・ **リピーターを飽きさせない**工夫、全国的企業との連携
- ・ **新規参加者の確保**に向けたPR

▶ 3 地域経済活性化に向けた検討

- ・ 地域での滞在・回遊や宿泊のための工夫

～U F Oに関連した名物・特産品を**提供する場の拡大**

例) 「宙飛ぶ宴絆」と「U F O餃子・円盤餃子」のセットや、
「宇宙人の指先」と「宙飛ぶ宴絆」のセット販売の可能性など



変革と成長のための政策

◆福島現状

- ▶安全安定志向 ⇒ 変革や新手法導入、リスクテイクに慎重
⇒ 時代に取り残される恐れ
- ▶創業や事業承継、経営革新、新技術・新製品開発、事業連携が重要
若者は革新的取組（特にDX、働き方改革）の状況を注視
- ▶まちづくり ～ 民間の新規投資の活性化が必要。合成の誤謬をみんなの努力で克服

◆変革を促進する主な産業政策

- ▶全般 ～ 公民こねくと(チャレンジ・フィールドなど)、TokyoHUB
- ▶事業承継 ～ 後継者育成塾
- ▶創業 ～ 創業支援、CBS、創業ゾーン進出補助(内外装・家賃)・集積による化学反応、
起業女子応援パッケージ
- ▶新技術・新製品開発 ～ 新製品開発支援、新製品・システム買取支援
- ▶事業連携 ～ 産業フェア、誘致企業と地場企業とのマッチング
- ▶経営革新 ～ DX支援、ダイバーワーク企業認証制度、外国人雇用環境整備支援

※市自体も、開発システムの製品化(自治体ビジネス)、特許出願等民間並みの変革推進

⇒日本DX大賞優秀賞受賞

変革と成長のための政策

◆民間投資を促進するまちづくり政策

▶まちなかの体質改善を促す4要素

人が住む
(R)

人が働き学ぶ
(W)

人が集まる
(G)

人が流れる
(F)

▶投資マインドの醸成 ⇒ 東口再開発、西口拠点の形成
(人が集まる拠点形成)

▶場の形成 ⇒ まちなか立地集積支援(都市機能を有する建物の新增改築支援)、
(働学・集・流) 新規出店支援(内外装、家賃)、本社・支社移転支援等、

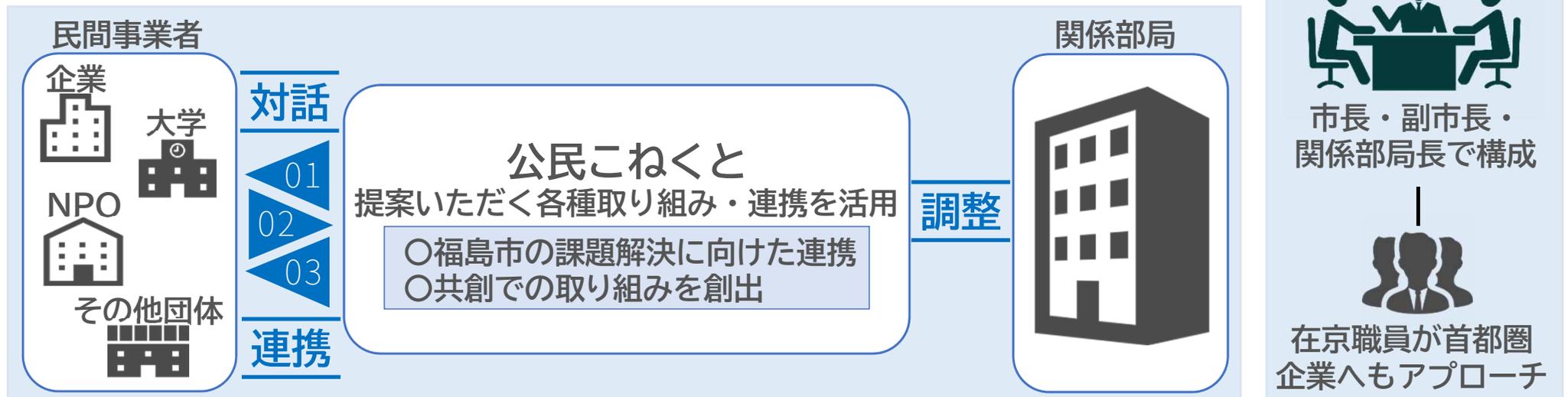
▶イベント等の開催 ⇒ イベント開催補助、イベントネーミングライツ
(集・流)

▶住居等の提供 ⇒ 借上げ公営住宅供、F-Style住宅、シェアハウス補助
(住・集) 空き家リノベーション(地域交流機能も)

「公民こねくと」① ～制度の体系～



- ✔ 民間事業者との積極的かつ柔軟な連携・支援
- ✔ 連携・支援を実効あるものにする市独自の多様な仕組み



- 01. 福島市の課題発信
- 02. 提案や相談の窓口
- 03. 公民連携を推進
- 04. 民間連携も後押し

～提案・相談方法～
 福島市HPのオンライン申請
 フォームからお願いします。

トップと共有しながら
 実効性ある体制を整備

取組実績（16件）

は課題提示型

このほか準備中の取組もあり！

実施中

救急医療の交通整理を推進

高齢者施設でのオンライン診療推進の実証

実施済

生ごみ処理容器の普及拡大

店舗での生ごみ処理容器「キエーロ」お手軽基本セットの販売

実施済

財務会計処理の効率化

BPRによる現状分析とフロー見直しの実証実験

実施済

試食・試飲モニター③件

6次化新商品の開発を目指す3社にフィールドを提供し試食調査を実施

実施済

腸内フローラ事業

「ふくしまシティハーフマラソン」にてブース出展

実施中

デジタルによる被災者支援の効率化

共同研究で罹災証明受付から家屋調査、支援実施まで効率化
※一部機能で特許出願中！

実施中

駅前広場の活用計画

福島駅前の広場（シカク広場）にて緑化整備の社会実験を実施

実施済

オンライン教材の導入

不登校児童生徒向けオンライン教材の実証実験。製品改良

実施中

プログラミング教育にロボットを導入

主に小学校のプログラミング教育に「あるくメカトロウィーゴ」を導入

実施中

おむつのサブスクの導入

保育施設で導入し、保護者及び保育施設負担軽減効果と課題を検証

実施済

消費額日本一！のまちで納豆PR, モニタリング

共同イベント開催、市食堂での無料配布でモニタリング

実施済

おひとり様高齢者への対応

「終活セミナー&相談会」の開催

実施中

モニタリング開発に向けた試験

市立図書館でRFIDタグを利用して雑誌の閲覧状況をモニタリング

実施中

通訳アプリによる多文化共生社会の実現

窓口・電話対応業務における通訳アプリ活用の実証

新製品・新技術開発の支援

ふくしまチャレンジフィールド

マーケティング	市民・市職員による 新商品のモニタリング
実証試験	実証試験のための 場の提供・調整
新製品共同開発	企業と市・市内企業で 新製品の共同開発
マッチング	共同開発社や取引相手 のマッチング
その他	国等への合同補助申請 ニーズに柔軟に対応



耐久性や使い勝手を
実験し、商品化!
「抗ウイルスシート」



宿泊業から製造業へ!
糰を使用した
「美糰フローズン甘酒」

新製品等開発支援

事業区分		補助率	1社あたり補助額
特定集積産業	医療福祉機器等	3/5	上限300万円
	ロボット・航空		
	食品加工		上限100万円
一般枠		1/2	上限 50万円

新製品・新システム応援制度

企業の新製品・新システムの買取等により
活用を促し、認知度向上、販路拡大を応援

創業の支援(ビジネス拠点)

詳しくはこちら▽



クリエイティブビジネスサロン

- コワーキングスペース
・1時間単位のフレキシブルな利用が可能
- JR福島駅西口より徒歩3分(駅チカ)
- 様々な事業者とのマッチングの機会
・年に数回の主催事業を開催(不定期)
- シェアオフィス、交流スペース、会議室なども併設

※駅周辺には
県のインキュベーション施設、
民間のシェアオフィスやコワーキングスペースがあります



まちなか創業ゾーンの形成

まちなかに**創業者やクリエイティブな事業者を集積し、**
化学反応でさらなる新事業の展開と集積を！賑わい創出も

改装費用と家賃をダブル補助

新規出店のための内外装工事等支援

【補助対象】

- ①各種工事費
内外装、給排水、空調設備ほか
- ②各種委託費
デザイン、工事設計、工事監理
- ③ネットワーク環境接続費
初期投資のみ

補助率	店舗面積・限度額		
	100㎡未満	100~200㎡	200㎡以上
クリエイティブ産業 1/2 各種産業 1/3	100万円	200万円	300万円

街なか空き店舗出店支援(家賃補助)

【補助対象】

- 地域
中心市街地の一部
- 店舗
空き店舗、新規店舗、空き家
- 事業者
中小企業等(小規模事業者、個人事業主を含む)



対象者	補助率			限度額
	1年目	2年目	3年目	
①アパレル産業	8/12	6/12	4/12	240万円(月20万円)
②クリエイティブ産業(新規創業者のみ)				
各種産業	6/12	4/12	2/12	180万円(月15万円)

※補助金ごとに対象エリアが一部異なります

女性の起業支援

ふくしま起業女子応援パッケージ
姉妹のように起業姉さんが応援します！

★先輩女性起業家＝起業姉さん
★起業を目指す女性＝起業妹さん

街全体で起業を応援

ふくしま起業女子応援パッケージ

具体的な起業の準備

起業

起業妹さんの
独り立ち

ステップ⑤
専門機関への相談

金融機関
中小企業診断士

支援制度の活用
チャレンジジョブ
空き店舗家賃補助等

ステップ④
起業へ向けた
ネットワーク

タテ/ヨコのつながりによる
コラボ事業が増加中！！

ステップ③
起業体験

お試し
ワンデー起業

◎市場調査を兼ねて
"1日起業"を体験

実際に
やってみよう！

起業を肌で
感じよう！！

ステップ②
職場体験

仕事場見学

【起業姉妹カフェの一部】

プチインターンシップ

◎起業姉さんの仕事場で仕事の
流れや方法を体験

同じ夢を持つ
仲間を作る

先輩に
聞きたい！

起業って
なに？

ステップ①
学び・出会い

チャレンジ講座

◎わたし自身をもっと知ろう
◎起業とはなに？
◎起業の基礎を学ぼう

起業姉妹カフェ

◎起業姉さんとの交流
◎仲間づくり

起業支援の
スペシャリスト

様々な業種の
先輩女性起業家

スタート！
起業知識ゼロでもOK！

起業姉妹サイクル

妹から姉へ成長！
そして、起業姉さんとして
新たな起業妹さんへ起業を伝授

外国人労働者の職場定着のために助成金を活用しませんか？

人材確保等支援助成金 外国人労働者就労環境整備助成コースのご案内

趣旨

外国人労働者は、日本の労働法制や雇用慣行などの知識の不足や、言語の違いなどから労働条件・解雇などに関するトラブルが生じやすい傾向にあります。この助成金は、外国人特有の事情に配慮した就労環境の整備を行い、外国人労働者の職場定着に取り組む事業主に対して助成するものです。

雇用保険被保険者となる外国人労働者（特別永住者及び在留資格「外交」・「公用」を除く）を雇用している事業主が対象です！

具体的な取組（就労環境整備措置）

必須メニューに加え、選択メニューの①～③のいずれかを実施する必要があります。

必須メニュー

雇用労務責任者の選任	雇用労務責任者を事業所ごとに選任し、雇用する外国人労働者に周知するとともに、1回以上の面談を行う。
就業規則等の多言語化	就業規則、労働協約、労働条件通知書、雇用契約書のいずれかを多言語化し、計画期間中に、雇用する外国人労働者に周知する。

選択メニュー

① 苦情・相談体制の整備	外国人労働者の苦情または相談に応じるための体制を新たに定め、外国人労働者の母国語または当該外国人労働者が使用するその他の言語により苦情・相談に応じる。
② 一時帰国のための休暇制度の整備	外国人労働者が一時帰国を希望した場合に必要な有給休暇を取得できる制度を新たに定め、1年間に1回以上の連続した5日以上の有給休暇を取得させる。
③ 社内マニュアル・標識類等の多言語化	社内マニュアルや標識類等を新たに多言語化し、計画期間中に、外国人労働者に周知する。

支給額

1つの措置導入ごと20万円（上限80万円）

対象となる経費 以下の経費を委託した場合にも「支給対象経費」となります。

- ① 通訳費 ② 翻訳機器導入費 ③ 翻訳料 ④ 弁護士、社会保険労務士等への委託料（外国人労働者の就労環境整備措置に要する委託料に限る）
⑤ 社内標識類の設置・改修費（多言語の標識類に限る）

主な支給要件

▶ 次の「外国人労働者離職率」に係る目標を達成する必要があります。

外国人労働者の離職率	制度導入日から6ヶ月経過するまでの期間の外国人労働者の離職率が15%以下であること。
------------	--

※ 外国人労働者数が2人以上10人以下の場合は、1年経過後の外国人労働者離職者数が1人以下であること。

▶ 外国人雇用状況届出（労働施策総合推進法）を適正に届け出ている必要があります。

支給までの流れ

1. 就労環境整備計画を作成・提出 【計画期間：3か月以上1年以内】

提出期間内に、本社の所在地を管轄する都道府県労働局（※1）へ提出してください。

2. 就労環境整備措置の導入

「具体的な取組（就労環境整備措置）」の選択メニュー①、②は、労働協約または就業規則に明文化することが必要です。

3. 就労環境整備措置の実施

2で導入した就労環境整備措置を計画どおりに実施してください。

（就労環境整備措置実施日から6ヶ月後※2）

4. 支給申請

就労環境整備措置実施日から6ヶ月経過した翌日から2か月以内に、本社の所在地を管轄する都道府県労働局へ提出してください。

5. 助成金の支給

※1 計画や支給申請書類の提出は決められた期限内に都道府県労働局等へ提出する必要があります。なお、郵送の場合、計画や申請書類は決められた期限までに到達している必要がありますので、余裕を持ってご提出ください。

※2 支給申請期間は、ある一定の要件を満たした場合、6ヶ月を経過せずとも申請できる場合があります。

お問い合わせ先

都道府県労働局職業安定部職業対策課（助成金センター）

助成金の活用にあたり、このリーフレットに記載していない支給要件や取扱いがあります。ご不明な点や詳細は、厚生労働省ウェブサイトをご覧ください。最寄りの都道府県労働局職業安定部職業対策課（助成金センター）までお問い合わせください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/gaikokujin.html
※ 詳細はポータルサイトの検索窓口で検索するか、二次元バーコードからアクセスください。

人材確保等支援助成金 外国人労働者

検索



街なかの空き家・空き地対策に関連した市の支援事業について

1. まちなか立地集積支援事業（オーナー等支援）

商業、オフィス、教育、医療などの都市機能の街なかへの立地を誘導し、民間投資を呼び込むため、当該機能が入る建築物の新築、建替え、増改築、修繕・模様替え等に対し支援する。

項目	対象経費と補助率		補助上限額	事業内容の条件
	建築費 又は 修繕費 (※)	取得費 又は 解体費		
①更地に 新築 する場合	10%	—	1億円	①投資額合計1億円以上 ②床面積500㎡以上(共用部分含む)の都市機能(表外のとおり)
②従前建物に 増築 する場合	10%	5%	1億円	
③ 建て替え する場合	10%	10%	建築費用:1億円、 解体費用:5千万円	
④建物を 修繕、模様替え する場合	10%	5%	1億円	①投資額合計1千万円以上 ②床面積500㎡以上(共用部分含む)の都市機能 ③マスターリースの場合、 賃料を除く修繕が対象
⑤ マスターリース事業者の修繕等	10%	—	1億円	

※工事費、設計費、経費を含む

【特例措置】

(1)バンケット割増(宿泊施設にバンケットを併設する場合)

→バンケット整備部分の補助率を5%加算
(バンケット整備部分については上限なし)

(2)教育関連機能が過半となって入居する場合

→教育関連機能整備部分を5%加算
(全体の上限:1.5億円)

支援

市街地
整備課

街なかへの立地を
計画するオーナー
等を支援します！



《凡例》 ※支援エリアには、
沿道も含む。

エリア	対象機能
内	A、C、F
内	B、D、E

【対象となる都市機能】

- | | |
|--|-------------------------------|
| A ホテル等宿泊機能
(客室100室以上確保など) | D オフィス機能
(情報通信、広告、金融など) |
| B 教育関連機能
(大学、短大、専門学校、高校) | E 医療関連機能
(病院、診療所など) |
| C 商業機能
(飲食、スーパー、アパレル、
雑貨、エンタメサービスなど) | F 文化芸術関連機能
(音楽ホール、図書館機能など) |

令和7年度の空き家対策について

空き家の整理と利活用を支援

令和7年度補助事業

※()内は昨年度実績件数

事業名	補助対象	対象者	補助内容	募集件数
空き家リフォーム支援事業 流通及び利活用の促進 ●受付期間～令和8年1月31日まで～ (先着順)	空き家のリフォーム費用	・市外からの移住者 ・新婚世帯 ・子育て世帯 のいずれかに当てはまる所有者	・費用の50% ・上限150万円 ※空き家バンク登録物件 を購入した場合、20万 円を加算する	10件 (11件)
	【拡充】 シェアハウスへの改修費用	・3人以上が入居可能な個室あり ・共有スペースあり(台所・リビング) ・入居者の半数以上が移住者 のすべての条件を満たす所有者	・費用の50% ・上限150万円 ※ただし居室1室当たりの 補助上限額は50万円	2件 (-)
特定空家等除却支援事業 管理不全等への対策 ●事前相談期間～令和7年5月31日まで～	特定空家等の除却費用	特定空家等の所有者	・費用の80% ・上限150万円	4件 (5件)
空き家清掃支援事業 流通及び利活用の促進 ●受付期間～令和8年1月31日まで～ (先着順)	空き家内の家財道具処分や ハウスクリーニング費用	空き家バンクに物件登録をした 所有者	・費用の50% ・上限10万円	5件 (6件)

※福島市地区空き家対策総合実施計画に位置付け、事業を実施。



福島市HP「空き家対策」